

慢性Ⅱ型呼吸不全増悪に対する退院時 NPPV 導入の有用性について

1. 研究の対象

西暦 2014 年 4 月 1 日～西暦 2018 年 8 月 31 日に大阪市立総合医療センター呼吸器内科に入院した慢性呼吸器疾患患者さん。

2. 研究目的・方法

慢性閉塞性肺疾患や特発性肺線維症などの慢性呼吸器疾患において、進行期にⅡ型呼吸不全を呈する症例に対して在宅非侵襲的陽圧換気(NPPV)の導入の必要性が重要視される中、忍容性、費用、管理面など様々な要因で導入率が低いという現状があります。慢性Ⅱ型呼吸不全を呈する疾患の患者さんに対して、増悪後在宅 NPPV の導入の有無と増悪回数、増悪までの期間、生存率との関係を調査を行い、その有用性について評価を行います。

研究実施期間: 臨床研究倫理委員会承認後～西暦2019年4月1日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録等を用いて、以下の項目の調査を行います。

- 1 年齢
- 2 性別
- 3 入院契機
- 4 呼吸不全の原因
- 5 使用した機器名
- 6 増悪回数
- 7 増悪から死亡までの期間
- 8 NPPV 導入の有無
- 9 退院時在宅 NPPV 導入の有無
- 10 入院中に使用した人工呼吸器の設定、退院前の設定
- 11 転帰

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

【相談窓口】

研究責任者 大阪市立総合医療センター 呼吸器内科 氏名 杉山由香里

〒534-0021

大阪市都島区都島本通2-13-22

電話 06-6929-1221(代表)